

【講師プロフィール】



石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長）

1990 年東邦大学大学院博士課程修了、薬学博士。1992 年米国国立衛生研究所(NIH)、国立老化研究所(NIA)、客員研究員、1994 年東京都老人総合研究所・細胞化学部門、研究員、2005 年東京都老人総合研究所・老化ゲノムバイオマーカー研究チーム・老化制御、リーダー、主任研究員、2008 年～2011 年東邦大学薬学部生化学、准教授、2011 年東京都健康長寿医療センター研究所・老化制御研究チーム・分子老化制御 研究副部長、2014 年同研究所研究部長、チームリーダー

著書:ビタミン C の事典 東京堂出版 (2011)、ホームページ <http://www.vit-c.jp/>



澤登 雅一（三番町ごきげんクリニック 院長）

東京慈恵会医科大学卒業。医学博士。
血液内科医として日本赤十字社医療センターに勤務。病気を診る立場から、病気にならないことの重要性を痛感し、アンチエイジングの世界に飛び込む。キレーション療法を始めとする各種点滴療法に習熟。最新著書に『細胞から「毒」が逃げ出す生き方～キレーション身体革命』（講談社）がある。

東海大学血液腫瘍内科非常勤講師、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本抗加齢医学会評議員・専門医、米国先端医療学会、キレーション治療認定医 (CCT:Certified Chelation Therapy)、日本がん治療認定機構 がん治療認定医、点滴療法研究会ボードメンバー



松山 淳（医療法人社団松寿会 松山医院 院長）

1984 年杏林大学医学部卒業。その後、慶應義塾大学大学院 研究生を経て、慶應義塾大学医学部病理助手、慶應義塾大学医学部附属厚生女子学院講師、国立病院臨床研究部室長等を歴任。1998 年、米国抗老化医学研究所に渡米。現在は松山医院、紀尾井町プラザクリニック他で臨床を行う。米国抗老化医学会（A4M）役員、欧州抗老化医学会（ESAAM）役員。点滴療法研究会ボードメンバー。



柳澤 厚生 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

杏林大学医学部卒、同大学院修了。医学博士。杏林大学保健学部救急救命学科教授を経て、2008 年より国際統合医療教育センター所長。

2008 年点滴療法研究会会長、2009 年第 10 回国際統合医学会会頭、2011 年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入りし、2012 年会長に就任。2015 年事業構想大学院大学客員教授。

日本で初めてマイヤーズカクテル、グルタチオン療法、高濃度ビタミン C 点滴療法を導入。

最新著書に「ビタミン C がガン細胞を殺す」「超高濃度ビタミン C 点滴療法ハンドブック」（角川 SSC）、「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」、「つらくないがん治療 高濃度ビタミン C 点滴療法」、（GB）など多数。